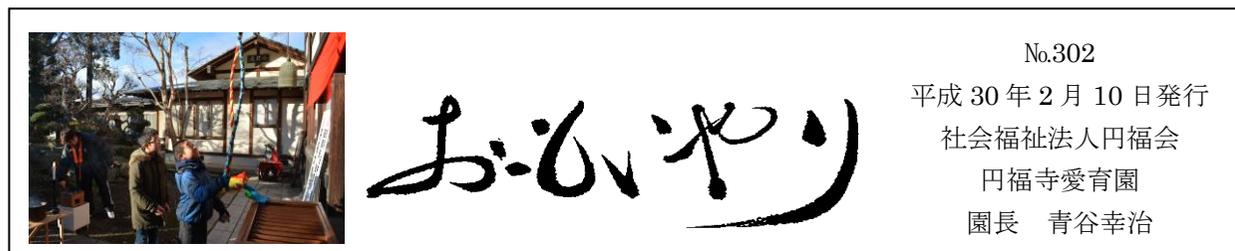


正月二日に円福大黒天大祭で今年の無病息災を祈願しました。



立派な人間に

理事長 藤本光世

卒園式があと 1 ヶ月余になってきました。

高校卒業して卒園していく児童は 4 名です。卒園後はそれぞれが本当に一人で生きていかなければなりません。社会には様々な誘惑があるでしょう。いろいろな人が寄ってくるでしょう。しっかりとした自分をもって、強い心をもって、誘惑に打ち克ち、やるべきことが分かって生きていってほしいと祈ります。

談話室のホワイトボードに、松井秀喜選手の高校時代の監督の言葉が貼ってあります。

心が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる

心と行動は、修証一如というように一緒です。だから心が変われば行動が変わると同じように、行動が変われば心が変わります。

はきものをそろえるところがそろろう

ところがそろうとはきものもそろろう

誰でもできる、当たり前のことをやろう。その質を上げよう。

あいさつ、早起き、お掃除、はきもの… それは鍵山秀三郎先生の「凡事徹底」につながるでしょう。

あと 1 カ月余。残された尊い時間の子どもの成長を祈ります。

成人式

園長 青谷幸治

1 月 7 日、長野市では成人式が行われました。当園の卒園生も 5 人が成人を迎えました。

その中で M 君が成人式に出席し、当園に挨拶に来てくれました。M 君は現在、信州大学工学部 2 年生。情報系を中心に勉学に励んでいます。

M 君は小学 2 年生のときに愛育園に来ました。発達障害との診断を受け自律支援学級で小学校時

代を送りました。コミュニケーション能力が低く、こだわりが強く、思い通りにならなければ暴れたり、高い所に登ったりと園の中でも一番手がかかる子であり関わりがとても難しく大変だったことを思い出します。特に 5, 6 年生の時は原級に入ることをためらい

人との関係を頑なに拒んでいました。自分の思い通りになるように生活をしていました。学校と園では真剣に M 君に向き合い、担任の先生は毎日 M 君の一日の様子を連絡ノート 1 ~ 2 ページ赤ペンで書いてくれました。それをホーム職員が見て学校での言動について毎日振り返ることが日課になっていました。「なぜこのとき、こんな行動をとったと思う?」「もう少し、言い方を〇〇に変えれば、相手に伝わったと思えばよ」など人との関わりや M 君が何に反応しておかしな行動を起こしたのか?を毎日 M 君との会話から心を探っていました。担任の先生が真剣に関わってくれたこともあり小学校卒業間近には原級にも入れ、クラスの子とも接することができ「卒業したくない」言っていたことを思い出します。

中学でも自立支援学級で過ごしましたが、M 君のこだわりがいい方向にでて受験に執着し工業高校に行くことができました。高校では、友達もでき遊びにいく仲になりました。そして 2 年生辺りから進学を意識し、国立大学の推薦をもらうために日々の学習に取り組んでいました。それと同時期に酒屋でアルバイトを始め、結果 130 万円を貯めることができました。小学校時代の様子が嘘だったのではと思うほど M 君は成長し、高校生では社交的で目標もった生活ができました。その裏では担任の先生やホーム職員の真剣な関わりと温かく見守ってきたことも忘れてはいけないと思いました。発達障害の有無に関わらず、他の児童と同じように養育し続けたことを今思えば正しかったと言えます。

成人の日を迎え、堂々と愛育園に顔を出せた M 君は立派な大学生になっていました。

あと 2 年間。大学生として、いろんなことを学び経験し立派な社会人になるよう応援しています。そしてこれからも愛育園の子どもたちの星になってくれることを期待します。

成人式

主任保育士 石崎 早織

1 月 7 日は篠ノ井地区の成人式が行われました。卒園生の M 君も成人式に出席した後愛育園に元気な姿を見せに来てくれました。高校生の男の子たちを呼び M 君の大学の話を聞いたり、将来どの方向性に進んでいくのかを話す中で、話を聞いていた男の子たちも将来の夢について話をしていました。卒園生の M 君は高校時代にたくさんの事を経験したほうが将来の役に立つこと、しっかりと方向性が決まっていなくても夢を持ち続けることが大切な事など、たくさんのお話を高校生たちに話してくれました。みんな真剣に話に耳を傾けている様子を見ると、普段口には出さないけどちゃんとそれぞれ将来について考えているんだな—と思いました。頑張っている卒園生の姿を見て子ども達も何か感じるものがあつたようです。また私は M 君を小学生から見えていたので、立派になった姿を見ることができ自分の励みにもなりました。M 君成人おめでとう!!

東京ディズニーランド&八景島シーパラダイス

主任保育士 石崎 早織

1月27日から一泊二日で東京ディズニーランドと八景島シーパラダイスへ行ってきました。子ども達も今か今かととても楽しみにしており、インフルエンザにならないよういつも以上に手洗いうがい徹底して体調管理に気をつけていました。そのため当日は具合悪い子もいなく、全員揃って行くことが出来ました。

当日を迎えるまでには、子ども達も楽しみにしていたので、気持ちが落ち着かず注意されてしまう場面もありましたが、楽しみが待っている分自分のできることを見つけて一生懸命頑張ろう！！を合言葉にみんなそれぞれ生活の中で頑張れることを見つけ取り組んでいました。準備の段階からどんなお土産を買うか、どんなアトラクションに乗るかなど当日過ごすグループで話し合いを持ち、目をキラキラさせながら話をしている子ども達の姿を見るだけでもすごく楽しみにしている事が伝わりました。

当日は天気にも恵まれ一日思い切り楽しむことが出来ました。何をやるにも笑顔が溢れ、「楽しいね」を何度も何度も言う子ども達を見ていると私もすごく嬉しくなりました。私のグループは小学生から高校生まで居ましたが、高校生が小学生を気にしながら行動してくれたり、色々な場面で気配りをしてくれている姿を見て、自然にそのような行動が出来る中高生の心の成長を感じることも出来ました。

二日間思いっきり楽しんだ分、また日々の生活を頑張ろうね！！と子ども達と話をしました。たくさん笑ってたくさん話しをして、子ども達の笑顔がたくさん見られた二日間になりました。

東京ディズニーランド

あおぞら保育士 富澤正樹

1月27・28日、今年度も1日目はディズニーランド。そして、2日目には八景島シーパラダイスに行ってきました。

本来の計画では昨年11月に行く予定が、学校行事等の関係で今年1月に延期となってしまった事もあって、子ども達の中では「待ち切れない」という気持ちや「本当にいけるのかな？」という不安な気持ちを感じている子が多くいました。それでも健気に日々の生活を頑張る姿があり、楽しい思い出を作ってあげたいと、職員も当日までに子ども達と多くの会話を交わしてきました。

当日、私は小学生3人、中学生2人、高校生1人の班で行動しました。当日は混んでいましたが、高校生の男の子が積極的にファストパスを取りに走り回ってくれて小学生はたくさんの乗り物になりました。小学4年生のR君は絶叫系の乗り物が苦手で、ドキドキしながら勇気を出して乗ってみると、固まりながら安全バーをこれでもか！というくらい握りしめていました。非常に可愛らしい姿でしたが、乗り終わると誇らしげに「全然怖くなくて、めっちゃ楽しかった」と話している様子がおかしくてまた笑ってしまいました。

今回乗った乗り物の中で、スプラッシュマウンテンという人気アトラクションがありましたが、人気過ぎて乗るまでに2時間も待ちました。正直、大人でも辛い待ち時間です。夕方から並び始めた事もあって、みんな、楽しいとはいえ、大分疲れが見えていました。

その空気を察してかどうかわかりませんが、私がおやつチョコを配ると、小学生のO君が「ありがとうございます。じゃあ、チョコーっただけ頂きます。」と突然のダジャレ。

私はびっくりして反応できませんでしたが、周りの子は爆笑して、そこからダジャレ大会が始まり、待っている時間も楽しく過ごせました。O君は入所したばかりの子ですが、そんな気遣いが早くもできている事が、とても嬉しく感じました。

目一杯楽しんだ2日間、今後の生活の励みになって欲しいと願っています。



東京ディズニーランド・八景島シーパラダイス

まごころ 渡邊梓

小学校の参観日と重なり一度延期となり、待ちに待った東京ディズニーランド、小学生は何日も前からどのアトラクションに乗ろうか、誰にどんなお土産を買おうかとガイドブックとにらめっこするほど楽しみにしていました。中高生も小学生に負けないうくらい楽しみにしていたので、前日、眠れないかもと言いだす子もいました。去年は一日中雨が降るあいにくの天気でしたが、今年は雲ひとつないとても良い天気でした。いくつかのアトラクションが改装工事中だった為か、予想していたよりもお客さんが少なく、たくさんのアトラクションに乗ることが出来ました。手分けをして並んだり、チケットを取りに行ったり、勝手な行動をする子が一人もいなく、みんなで楽しむことが出来ました。

二日目は八景島シーパラダイスへ行きましたが、水族館は初めてと言う子ども達も多く、入館

<http://enpukui-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

してすぐの水槽から大はしゃぎでした。八景島シーパラダイスでは、何と言ってもイルカやアシカ、セイウチによるショーが最高でした。最前列でショーを観ましたが、目の前でイルカたちがジャンプするのに合わせて、子ども達から歓声が上がりました。食い入るように観る子ども達の姿が見られ、私も嬉しくなりました。

昨年につき東京ディズニーランドに行けたこと、八景島シーパラダイスという大きなテーマパークにも行けたこと、二日間思いっきり楽しめたことに感謝して、またそれぞれが出来る事を一生懸命頑張れるように、私も子ども達のサポートをしていきたいと思います。

『ディズニーランド・八景島シーパラダイス』

まごころ保育士 竹内早季

毎日おみやげやアトラクションの雑誌を眺めて待ちに待ったディズニーランドに無事全員で行くことができました。この日のために勉強を頑張ったりお手伝いをやったりそれぞれに楽しみな思いを生活に活かしていました。当日は見事に晴れ、子ども達も元気いっぱい早くアトラクションに乗りたい！とわくわくしていました。私は低学年中心の班で、行く前からどうやって回ったら楽しめるかなと考えてはいましたが、実際その場では計画通りにはなかなかいかず、退屈な時間を作らないようにすることで精一杯でした。子ども達を楽しませることはまだまだ努力が必要だと感じました。また、アトラクションやショーを楽しむ合間に子ども達のいいところも見ることができました。歩きつかれた子を励ましたり、自分のおやつを分けてあげたりとちょっとしたさりげない行動に思いやりが表れていました。二日目は、八景島シーパラダイスに行きました。水族館に行くのが初めてだと言う子どもも何人かいて、大きな水槽にエイや色とりどりの魚が泳ぐのを口をあけてじっと眺めていました。「すごい！」「なんだこれ！」と素直な感想がたくさん聞けてよかったです。帰りのバスで旅行中に撮った写真を見ましたが楽しそうな笑顔がたくさんあってみんなで行けてよかったなあと改めて感じました。旅行後の作文に、「行けたことを感謝してまた頑張っていきたい」と書いた子もいました。こういう気持ちが大人も子どもも関係なく大切だと思いました。子ども達がまた行事に前向きに参加できるように自分自身が日々できることを考えていこうと思います。

東京ディズニーランド・八景島シーパラダイス

あおぞらホーム 保育士 近藤誠志郎

1月27、28日の2日間、子ども達、職員で東京ディズニーランド、八景島シーパラダイスに行って来ました。子ども達は前日から楽しみな気持ちが先走りソワソワしており、この二日間を待ち侘びていたのを感じました。27日の深夜2時、まだまだ外が真っ暗な中、ディズニーランドの開園に間に合うために出発です。予定通り、6時頃に到着し子ども達のテンションも最高潮、開園は8時なのですが1時間も前から入り口前に並びスタンバイしていました。そしていよいよ開園、夢の国に突入です。私は初めてのディズニーランドとあって右も左も分からない状態でした。子ども達は昨年も経験しているため、私に色々な事を教えてくれます。このアトラクションはこんなこ

(平成30年1月10日発行 月刊「円福」499号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

とがある、ここに行けば買い物ができる、子ども達が教えてくれたお陰で私自身も夢の国を堪能する事が出来ました。特に心に残っているのがあたりも暗くなった頃に乗った「ビックサンダーマウンテン」です。夜景も綺麗で、暗闇の中疾走する爽快感に子ども達とともに興奮したのを覚えています。開園から21時過ぎまで遊び続け、大満足の日となりました。

2日目は神奈川県に移動して八景島シーパラダイスに行きました。水族館はなかなか行く機会もなく、子ども達は珍しい生き物に興味津々な様子がありました。中でも凄かったのは「海の動物たちのショー」です。アシカやセイウチの芸は可愛らしく、最後のイルカたちによるパフォーマンスはまさに圧巻でした。子ども達もとても感動していたのを覚えています。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、帰る時間となりました。帰りのバスの中でも、子ども達がお土産として購入したぬいぐるみやおもちゃで遊んでいる姿を見て、この2日間が良い思い出になったのを感じました。また2日間、事故や怪我もなく無事に終わることができて良かったです。私にとっても、忘れられない2日間となりました。これからも子ども達とともにたくさんの思い出を作っていきたいです。

TDR児童感想

1月27日にディズニーランドに行ってきました。今回は一番始めにスペースマウンテンに乗りました。その後お昼を食べてまたアトラクションに乗りました。夜はホテルに行くと部屋がとても豪華で驚きました。部屋の模様もすごくかわいかったです。2日目は八景島シーパラダイスに行きました。八景島シーパラダイスはずっと行きたかった場所なので行けて嬉しかったです。色々な魚を見ましたが、中でも一番かわいかったのはクマノミです。私が好きなサメもいて見れて嬉しかったです。この二日間でたくさんの思い出が出来たのも先生達が計画を立ててくれたおかげです。しっかり感謝をしてこれからの日々を頑張っていきたいと思います。二日間ありがとうございました。とても楽しかったです!!! (中3Y・O)

1月27日28日はディズニーランド、シーパラダイスに行きました。一日目のディズニーランドでは私の乗りたいものや買いたいものが乗れたり買えたりしました。はじめに乗り物を乗りました。いっぱい乗った中で一番楽しかった乗り物はダンボです。なぜかというダンボの乗り物は自分で下や上に動かすことが出来てとても楽しいからです。二日目は八景島シーパラダイスに行ってお魚さんをいっぱい見る事が出来てとてもかわいかったです。とてもいい二日間になりました。(小3M・N)

1月27日、ディズニーランド行きました。朝1時に起きて準備をして、2時には愛育園を出ました。僕は、ちょっと風邪気味だったけど、みんなと一緒に行く事ができました。

ディズニーランドでは、開園の1時間くらい前から前から並びました。待っている間は班の人と話したりして楽しかったです。

開園したら、まずビックサンダーマウンテンに行こうとしたけど、凍結か何かで一時中止になっ

<http://enpukui-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

てしまっていたので、最初はカリブの海賊に乗りました。とても空いていてすぐに乗れました。その後は、白雪姫のアトラクションに乗りました。初めて乗ってみました。あまりよく分からなかったのですが、乗ったら、結構楽しかったです。その後はシンデレラ城の中に行きました。中には、シンデレラがお姫様になるまでの絵が描いてありました。写真スポットもありました。次はスペースマウンテンに乗りました。ファストパスを使ったのですぐに乗れました。スペースマウンテンは3番目に好きなアトラクションです。なので乗るまでワクワクしました。とても速くて暗かったけどスリルがあって面白かったです。

スターツアーズは3D映像がすごかったです。アリスのティーパーティーはカップを早くまわしすぎて少し気持ち悪くなってしまいました。お昼ご飯はトゥモロランドでミッキーのハンバーガーを食べました。

その後は、ビックサンダーマウンテンに乗りました。手を挙げたりしながら乗ってとても楽しかったです。

(中 略)

ビックサンダーマウンテンは、夜にも乗りました。待っている間シンデレラ城がライトアップされていて、とてもキレイでした。その後、スプラッシュマウンテンに乗りました。去年乗った時よりは怖くなかったけど、体が浮いた感じがして少し怖かったです。

最後に、バズのアストロブラスターに乗りました。アストロブラスターを持って得点の書いてある的を狙って撃ちました。得点は19600ポイントでした。

一日、朝から夜まで遊べてとっても楽しかったです。(中1 M.N)

箸ピー大会

まごころホーム 保育士兼指導員 加藤ゆかり

1月20日に箸ピー大会がありました。今年は年が明けてから練習が始まり、例年より練習期間が短かったのですが、今年も子ども達は一生懸命練習に取り組んでいました。

今年は、みんな練習開始早々良い結果を出していました。どの子がKINGを取るか職員も見当が付き、ドキドキしていました。

当日、小4のAちゃんは、練習でも良い結果を出しており、自信を付けて大会に臨みました。しかし、途中で豆を落としてしまい、あまり記録が伸びず、思わず涙する一面もありました。本人からしたら相当悔しかったと思いますが、私はそのAちゃんの姿を見て、練習から本気になれて、箸ピー大会に対する気持ちがあったからこそ、涙出来るのだな、と思い感心してしまいました。また、小5のSちゃんは、KINGは逃してしまったものの、今までの最高記録306個を出し、とても満足そうでした。

たくさんドラマがあった箸ピー大会。来年度も、今年の嬉しい気持ちや悔しい気持ちをぶつけて頑張ってもらいたいです！

(平成30年1月10日発行 月刊「円福」499号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

第8回箸ピー大会

あおぞらホーム 保育士 近藤誠志郎

1月20日(土)、本園の体育館にて「第8回箸ピー大会」が開催されました。大会には国際箸学会から5名の審判員の方々、また本園の児童が通う小学校・中学校の先生方、西横田地区の方々に来てくださり、大いに盛り上がった一日となりました。

「箸ピー」とは1分間で箱に入っている落花生を箸で掴んで隣にある箱に移すという競技です。右手、左手と数を計測し、その数の合計で順位を決めます。子供たちは10日間という短い練習期間でしたが、その中でも一生懸命練習を重ね本番当日を迎えました。

初めに行われたのは個人戦です。競技を2度行い、数の多い方を記録とし、小学生低学年の部、高学年の部、中高生の部に分け表彰します。また個人戦で上位8名を選出し、キング決定戦が行われました。私は審判として、予選では2位だった小学4年生のY君を見ていました。途中落花生を机の下に落としてしまう面もありましたが、最後まで懸命に箸を動かし続けました。その結果、Y君は見事「箸ピーキング」となることができ、照れくさそうでしたが嬉しそうにトロフィーを受け取っていたのが印象的です。次に行われたのが団体戦です。こちらは机にズラッと人が横並びになり、落花生を50個箱に移したら次の人にバトンタッチするというリレー方式の競技です。団体戦は子どもたち、職員に加え、大会に参加していただいた箸学会の方々、小・中の先生方、西横田の方々も交えて行われました。団体戦となると競技している人はもちろんですが、応援している同じチームの人たちも白熱します。大声援の中行われた団体戦は大いに盛り上がりました。

大会自体は午後に開催されましたが、児童たちは午前中から玄関や体育館掃除、会場の装飾や机・椅子並べなど、大会の準備を素早く行ってくれました。毎回、行事で思わされることですが、子どもたちの準備、片付けの姿勢には頭が下がります。競技自体の頑張りも大切ですが、それ以外の面でも頑張ることができるのは人としてとても大切なことだと思いました。また、開会式で選手宣誓をした小学4年生のR君。大きな声で堂々とした姿はとてもカッコ良かったです。様々な面で子どもたちの成長を見ることができ、良い一日となりました。お忙しい中、来賓していただいた皆様、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお祈りします。

第八回 箸ピー大会 児童感想文

第8回箸ピー大会 (小6 H・A)

1月20日に第8回の箸ピー大会が行われました。ぞくぞくと地域の方や小学校、中学校の先生にも来ていただき、きん張感がすごくありました。

僕は、1回目219個でした。きん張してしまい、力んでしまいました。練習と同じだ。と思うようにしたおかげか2回目の記録は246個でした。その後に学校の先生達も参加してやりました。先生達は初めてなのにとっても集中して一生懸命やっています。すごいです。と思いました。

僕はキング決定戦にすすめたのですが、左手の時に豆を落として、あせってしまいました。記

録は209個でキングにはなれませんでした。あせらなければ、もっといけたと思います。来年は中高生の部に入るけど、そこでも頑張ってキング決定戦に出て、キングを取りたいと思いました。

第8回箸ピー大会

(小4 Y・Y)

第8回箸ピー大会がありました。今年は200個をこえる人がたくさんいました。ぼくは、1回目とてもきんちょうしていて調子がでなかったけど、2回目は自分の最高記録の286個ができました。そしてキング決定戦に進むことができました。去年もキング決定戦に進んだけど、くやしい思いをしたので今年は優勝したい気持ちが強かったです。

結果発表で、今年のキングに自分の名前が呼ばれたのでとても嬉しかったです。来年ももっともっとはやくなりたいです。



今日は箸ピー大会がありました。私は、練習の時よりも結果が低かったです。でも、諦めないで頑張りました。その結果が、198でした。いつもは230くらいだったのですが、198だったので悔しい思いをしました。来年は高学年3位になれるように、頑張りたいです。(小4 A・Y)

今日は箸ピー大会がありました。1回目は右手108個、左手は緊張のあまりピーナツ

を落としてしまい、106個でした。2回目は1回目より落ち着いて出来ました。その為、右手98個、左手132個で、合計229個でした。この結果は今年の最高記録でした。そして、箸ピーKING決定戦に出場する選手が発表されました。自分の名前が呼ばれてほしいと願っていたので、呼ばれた瞬間はとても嬉しかったです。けれど、決定戦では緊張して記録があまり伸びず、終わってしまいました。記録は214個。自分では頑張ったと思いますが、物足りない気がします。けれど、表彰式で呼ばれた時は3位だと分かって嬉しかったです。箸ピーKING決定戦に出場する、という経験を出来て良かったと思います。(小6 A・M)

エキサイティングスノーバトル2018 IN 飯綱高原

保育士 佐々木 弘観

1月21日に大座法師池にてエキサイティングスノーバトルが行われました。愛育園は昨年へ続き2回目の参加になります。出場する選手は職員含め、10名。その他にもサポートしてくれる子どもなど、総勢16名で参加してきました。

昨年は初出場のため、何も分からず手探りでやっていましたが、今年は経験者がいます。その4人の子達を中心に、この日のためにたくさん練習を重ねてきました。大会に出ない他の子達も夜遅くまで練習に参加してくれました。練習も最初は上手く連携が取れませんでした、回数を重ね

るごとにみるみる上達していき、チームのために考えて動く姿が増えてきました。

大会当日。快晴で気温も高く、雪が少し溶け始めていました。試合前の雪球作りでは、経験者中心に思雪を運ぶ人、踏み固める人、成型する人、それぞれ任された分担を全力でやり遂げ、何とか時間内に作る事ができました。

第1回戦 今年初参加の子は緊張で思ったように動けず、普段の練習の成果を発揮できず延長戦の末、惜しくも負けてしまいました。今年は抽選の結果、その負けてしまったチームと再度戦います。その後みんなで集まり、普段通りにやれば勝てる事や気持ちの面で負けないこと、互いに声を掛け合いリベンジを誓うと、2試合目では動きが良くなり勝利！！

なんと決勝トーナメントへ進む事ができました。決勝トーナメントでは2-1で勝ち進むことができ、いよいよ次は準決勝。対戦相手は昨年からお手本にしてきたチームでした。全国大会ベスト4の強豪チームで、自分たちが出来る事を精一杯出し切る事を誓い、挑みましたがやはり相手は非常に強く、負けてしまいました。しかし結果は3位！見事全国大会への切符を勝ち取ることができました。



この行事は一体感がありました。みんながチームのために何ができるのか必死に考え、作り上げていくものでした。昨年は予選で負けてしまい、リベンジを誓いましたが、今年はそのリベンジを果たし見事3月に白馬で行われる全国大会への出場を勝ち取りました。

3月まで残り1ヶ月。更なるレベルアップをし勝ち進める様にみんなで協力、努力をしていきたいと思います。

エキサイティングスノーバトル

調理員 橋本 雅

1月21日に飯綱にてエキサイティングスノーバトルに参加しました。

私自身は初参加でしたが、去年参加した先生方や子ども達も多く経験のある人達にルールを教えて頂きながら練習しました。子ども達の中から「全国大会目指して頑張ろう」という声が沢山聞こえました。二週間前から練習を開始しチームで作戦を立て練習しました。Bチームにお手伝いして頂きながら実践を想定して練習することができました。実践を想定し練習する中で作戦が上手くなったのか、改善する点はどこなのかをチーム内で話し合いながら練習しました。日に日に上達し前日ではミーティングをしてルールや作戦などをチームで再確認し本番に備えました。

<http://enpukui-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

大会当日、試合前に雪玉作りをしました。雪を運ぶ人、踏み固める人、成型する人、数える人などに分かれ時間内に作る事ができました。予選では最初、緊張し体が動かなかったがやっていくうちに緊張がほぐれ体も動き練習のようにプレーする事ができ予選を通過し決勝トーナメントに進出することができました。準々決勝を勝ち準決勝では去年の準優勝である北軽ピーチとやりました。二セット取られてしまい負けてしまいました。結果は三位でした。

結果だけでなく応援してくれた人、練習をお手伝いしてくれた人、サポートしてくれた人のおかげで結果をだすことができ感謝することを学ぶことができました。また、仲間と協力し助け合うことも学ぶことができました。負けてしまい悔しい思いをしましたが、それ以上に沢山の事を学べた良い行事でした。また、全国大会にも出場できるので楽しさをバネに頑張りたいと思います。

年末年始行事・大黒天

あおぞら保育士 富澤正樹

1月2日、年末年始を園で過ごしている子と年末年始行事に出かけて行きました。

朝8:30には円福寺大黒天に行き、お参りをしました。大黒天様の小槌に手をふれ、帰りには福引きもさせて頂きました。

その後は、みんなでお出かけしました。年末年始は帰省する子もいますが、園での行事を楽しみに、園に残る子もいます。そんな子ども達の思いを受け止めて、私達職員も、その思いに応えようと計画を練ります。

今年は、昼食を焼肉の食べに行き、その後、善光寺へのお参りをしたら、ボウリングに行きました。夜は、近くのスーパー銭湯にも行って、かなり盛り沢山の内容となりました。

日頃、頑張っている子ども達が、正月には気持ちをリラックスさせ、また今年一年頑張ろうと思ってくれていたら嬉しく思います。

しめ縄集め・どんど焼き

保育士 佐々木 弘観

1月8日に地区行事のしめ縄集めとどんど焼きがありました。しめ縄集めは朝から小学生皆で正月飾りのしめ縄や達磨さんをトラックの後ろについて横田地区全体を歩いてまわり回収していききました。みんな率先して集めてくれたおかげですぐに沢山の正月飾りや達磨さんが集まりました。土手では地区の皆さんが、子ども達が回収したものを組み立ててどんど焼きの準備に取り掛かります。正月飾りを積んでいったり、達磨さんを縄で結んだり大きな櫓が完成しました。

夕方になると、一人ひとりお餅をつけた竿を持ってどんど焼きに向います。櫓に火がついていっきに燃え上がっていききました。子供たちも自分たちのお餅を焼いて一年の成長や健康を祈って美味しく食べていました。

調理室だより

調理 加藤のぶ子

(平成30年1月10日発行 月刊「円福」499号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

お正月1月7日「七草MENU」として朝食で七草粥を作りました。

「セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ」この七草とお餅が入り、緑がきれいなやさしい味のお粥ができました。

子どもたちは「これはセリかな？大根かな？」などと言いながら、おかずのサケの塩焼き、切り干し大根の煮物と一緒にいただきました。

1月11日には鏡開き。子どもたちの休みに合わせて13日に「手作り3時のおやつ。おしるこ」になりました。

お寺からお餅を下げてください、鏡餅は硬いのでハンマーなどで割ってもらい手作りあんこで、おしるこができました。「お夕食大丈夫かしら」と思うくらい、いっぱい食べてくれました。1月9日はKくん、16日はMちゃん、25日はTちゃんの誕生日メニューです。

この一年も子どもたちの笑顔がたくさん見られるよう行事や食事作りを頑張っていきたいと思えます。

